

編集 後記

本誌編集委員を委嘱されてからまもなく丸6年になり、この12月をもってその役目も終わることになる。

編集といっても、私が描いていた編集のイメージとは若干異なり、論文採用の可否判定の作業が中心であった。しかも、論文の基本的な書き方を指導するなどの“教育的配慮”をしながらの議論をすることがかなり多かった。その結果、論文受理から掲載までの平均期間が長くなってしまっているが、その点については前号の編集後記で述べられている。

編集委員の一人として雑誌改革のための積極的発言ができたかどうか、振り返ってみて内心忸怩たるものがあるが、新編集委員会によって、論文掲載までの期間が短くなるばかりでなく、さらに内容も濃く、読みやすく、魅力的な雑誌に成長することを期待する。(清水弘之)

次号予告

原著

脳卒中の障害状態についての効用値の評価

評点尺度法と時間得失法による検討

……………能登真一, 他

成人双生児における食品摂取および食嗜好性に関する同胞間比較……………加藤憲司, 他

尿を材料とした風疹ウイルス抗体測定とその疫学的有用性……………大屋日登美, 他

介護保険居宅サービス事業所管理者と訪問サービス従業者の感染予防対策の実態……………中野匡子, 他

公衆衛生活動報告

市町村保健師の行う痴呆電話相談の相談者の

実態とその効果について……………高柳智子, 他

資料

外来患者の服薬アドヒアランスに関する調査報告

……………笠原聡子, 他

キューバにおけるエイズ対策……………小池創一, 他

第6回日本地域看護学会学術集会開催要項

メインテーマ：生涯を通じた健康支援と地域看護活動

会 長：河野啓子（東海大学健康科学部 教授）

会 期：平成15年6月7日（土）、8日（日）

会 場：パシフィコ横浜 会議センター

横浜市西区みなとみらい1丁目1番1号

内 容：会長講演「働く人々への健康支援とその課題」

シンポジウム「世代をつなぐ地域看護活動」

一般演題／ワークショップ／理事会セミナー／総会

*また、同日に国際セミナーも開催の予定。

一般演題締切：平成15年1月14日（火）必着

問い合わせ先：〒259-1193 伊勢原市下糟屋143

東海大学健康科学部看護学科 地域看護学領域

第6回日本地域看護学会学術集会事務局

F A X : 0463-90-2080

E-mail : chiiki@mars.ih.s.u-tokai.ac.jp